



信篤三つ葉学園
市川市立高谷中学校

学校だより 12月号



学校 HP

令和6年 11月 29日

輝く若木

高谷中みんなの広場 * * * Colorful * * *

1年のまとめをしよう!!



後期中間テストも終わり、早くも12月となりました。12月の異名は「師走^{しわす}」であるということは、皆さん知っていると思いますが、その由来は知っていますか？(初めに「諸説あり」と断っておきますが…)「僧侶のような普段落ちついている人でも、この月は多忙で走り回るようになるという意味から名付けられた」という説があるそうです。

つまり、12月はなんだかとても慌ただしく、忙しい月なのです。

そうでなくても、私たち現代人は時間に追われているような慌ただしい毎日を過ごしているのですから、年末年始くらいはきちんと立ち止まり、自分自身を振り返る時間をもつように心がける必要があります。

皆さんも、「身の回りの整理整頓」「今年の振り返り」「生活習慣の見直し」等に取り組み、清らかな気持ちで新年を迎えられるよう、心を整えましょう!

共生社会の実現に向けて

今年 10 月26日から28日にかけて、佐賀県で全国障害者スポーツ大会が行われました。本校からは、若木ゆめ学級の原先生が、視覚障害者マラソンの伴走者として参加し、金メダル獲得に貢献しました。

原先生のお話を紹介します。

「二人三脚で掴んだ金メダル」原 慎弥

全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」に千葉県選手団の一員として、視覚障害のランナーの伴走者で大会に参加しました。陸上競技「1500m (T24-1)」において、選手は優勝し、金メダルを獲得することができました。7月に伴走者に選ばれ、練習がスタートしました。私自身今までフルマラソンを 43 回完走してきましたが、伴走の経験は一度もありません。そのため、最初の練習は試行錯誤の連続でした。視覚障害者の伴走は伴走ロープを使って走りのガイド役を務めます。伴走ロープを使って二人で走ると、お互いの動きが制限されるため、思い通りに

は走れません。さらに相手のペースに合わせて走る難しさも痛感しました。伴走ロープを持つ手が大きく揺れるととても走りづらいので、選手と相談しながら伴走ロープを握る内側の手はお互い固定する(動かさない)ことを意識し、腕振りは外側で自由に振るようにすると、走りやすくなってきました。夏場の暑い練習を重ねるうち、二人の走るペースが合うようになってきました。最後の強化練習会のタイムトライアルでは、目標タイムを切って、佐賀へ入ることができました。そして、いざ決戦。先行逃げ切り作戦で自己ベストを更新してゴールできました。伴走者は選手より先にゴールすると失格となります。ラストスパートでスピードを最高潮に上げながら、最後は選手を先に送り出して、上手くゴールのアシストができました。二人三脚で挑んだ全障スポ。一心同体で走り抜けた「5分39秒」はとても楽しい時間でした。



12月の予定について

主な行事

- ・5日(木) 2 学年校外学習
- ・7日(土) 若木ゆめ学級合同発表会
(ゆめ学級 9 日(月)振り替え休日)
- ・11日(水) 1, 2年生面談~17日
- ・16日(月) 私立高入試相談開始
- ・18日(水) 職員会議
- ・19日(木) 給食終了
- ・20日(金) 弁当!
- ・23日(月) 大掃除、集会
- ・24日(火) 冬季休業~1/5まで



行事予定の詳細は
こちらをご覧ください。

学校図書館長おすすめ

これ、読んでみて

本を読もう
もっと、もっと本を読もう

『謎とき百人一首 和歌から見える日本文化のふしぎ』 ピーター・J・マクミラン 著/新潮社

アイルランド生まれのマクミランさんは、日本文化の奥深さに感動し、掘り下げているうちに気付けば30年もの年月を日本の地で過ごしたと言っています。特に、「百人一首」に惹かれ、英訳に取り組んでいます。「枕詞」や「掛詞」「本歌取り」など、和歌特有の修辞法をどのように英訳したのか、とても興味深いですね。例えば、在原業平の「ちはやふる」の歌(百人一首十七番)。英語の出だしは「Such beauty unheard of...」。この先は、本で見てみてくださいね。本は、校長室の前に展示してあります。そして、自分の好きな歌が英語でどのように表現されているか、のぞいてみてください。

